

2010年2月16日

HSBC 投信、「HSBC アジア・クオリティ株式オープン」を設定

HSBC 投信株式会社は、主に日本を除くアジア諸国の株式等に投資する追加型証券投資信託「HSBC アジア・クオリティ株式オープン」を新規設定致します。3月1日より募集を開始し、設定は3月23日を予定しています。

リーマンショック後の世界経済は先進国主導の時代から新興国、特に「アジアの時代」へのパラダイムシフトが起きつつあります。世界経済の成長の重心が中国、インドを中心とするアジア諸国に移動していく中、アジア経済は2010年には7.8%^{注1)}（加重平均—HSBC 予測）の成長を達成することが期待されています。

このようなアジア諸国の成長の源泉は中国およびインドの消費市場の拡大にあります。次世代の高成長企業群の中核は、この両巨大消費市場へ戦略的にアクセス可能なブランド力、マーケティング力、資金力を有するアジアの「クオリティ企業」であると考えます。当ファンドは、かかるアジアの「クオリティ企業群」に着目し、投資を行います。銘柄選択は、アジア地域を一つの国とみなし、その中で優れた企業（クオリティ企業）を選別するベストアイデア手法に基づきます。

当ファンドの運用は、HSBCの100%子会社である Halbis キャピタル・マネジメント（ホンコン）リミテッドが実質的に行います。HSBCグループはアジアの株式を35年以上にわたり運用してきており、当ファンドにおいてもHSBCグループが持つその運用ノウハウが十分に発揮できると考えております。また、「HSBC アジア・クオリティ株式オープン」は1年に1度決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

次頁に続く

ファンドの特色

1. ファミリーファンド方式で運用を行います。
2. アジアの高配当もしくは企業予想収益の安定性が期待される企業の株式を中心に投資します。
3. 決算は年1回分配方針に基づき分配を行います。
4. マザーファンドの運用は、Halbis キャピタル・マネジメント（ホンコン）リミテッドが行います。
5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

販売会社(予定) (50音順)

いちよし証券、そしあす証券、新潟証券、武蔵証券

注記:

1: 2010年1月現在における、HSBCグローバルリサーチ 2010年予想。

HSBCグループ

HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングスplcは英国に本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる86の国と地域の約8,500拠点で顧客に対しサービスを提供しています。2009年6月末現在2兆4,220億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

HSBCグローバル・アセット・マネジメント

HSBC投信株式会社が属するHSBCグローバル・アセット・マネジメントは30以上の国と地域で個人及び機関投資家に投資ソリューションを提供する、HSBCグループの中における資産運用会社の総称です。アクティブ、クオンツ、ストラクチャード等のグループ内の運用能力と、マルチマネージャー機能を通じて多様かつ最適化された運用手法の提供によってお客様のニーズに応えます。HSBCグローバル・アセット・マネジメントとその関連運用会社の運用資産は2009年6月末現在、3,901億米ドルです。

次頁に続く

ファンドのリスクと手数料について

当ファンドは実質的に海外の株式を投資対象としています。当ファンドの基準価額は、組み入れた株式の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当ファンドのリスクの詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

○申し込み時に直接ご負担いただく費用

- 申込手数料（申込口数、代金、又は金額に応じ、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に対して、上限3.675%(税込)

※詳しくは販売会社にご確認ください。

○換金時に直接ご負担いただく費用

- 換金手数料はありません。

- 信託財産留保額 解約申込受付日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額

○投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬（信託財産の純資産総額に対して年1.89%(税込)

○その他費用の詳細は当ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご確認下さい。

以上

HSBC 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

（社）投資信託協会会員/（社）日本証券投資顧問業協会会員